株式会社国際協力銀行
JBIC JAPAN BANK FOR INTERNATIONAL COOPERATION

お問い合わせ先　アフリカ・タスクフォース事務局
（資源ファイナンス部門　企画調整ユニット）
E-mail/ B0190@jbic.go.jp
Phone/ +81-3-5218-3061

2019年8月

JBIC FOR AFRICA

国際協力銀行の
アフリカでの取組

日本の力を、アフリカのために。

株式会社国際協力銀行（JBIC）は、日本と国際経済社会の健全な発展への貢献を目的とした政策金融機関です。近年の重点取組課題として、アフリカにおける我が国企業のビジネス展開支援を掲げています。

1 組織について

組織概要

名称	株式会社国際協力銀行 （Japan Bank for International Cooperation-JBIC）
総裁	前田　匡史
資本金	1兆7,652億円（日本政府100%出資）
出融資・保証承諾額（2018年度）	2兆1,541億円（約200億米ドル）
出融資・保証残高（2019年3月末）	16兆5,106億円（約1,543億米ドル）
職員数	594人（2018年度予算ベース）
海外拠点	16カ所（アフリカ管轄：ロンドン、パリ、ドバイ事務所）

政策に基づくファイナンス

一般の金融機関が行う金融を補完することを旨とし、日本および国際経済社会の健全な発展に寄与することを目的。

アフリカ・タスクフォース

- JBICのアフリカ諸国に対する取組に関し、営業部門（セクター別）や関係駐在員事務所による横断的討議を目的に設置。
- JBICの取組状況を含むアフリカ関連事項を整理すると共に、中長期的プロアクティブな「アフリカRM強化アクションプラン」を策定（実施は各営業部門）。

2 ミッションと政策手法

我が国および国際経済社会の健全な発展に寄与

ミッション

資源の確保
- 資源の権益取得／輸入
- 資源インフラ等の事業環境整備
- 資源国との関係強化

国際競争力の維持・向上
- 海外市場・経営資源の確保
- ネットワークの高度化・安定化
- 投資環境整備／市場育成
- 経済連携／地域協力

地球環境保全
- 温室効果ガスの大幅な削減
- 環境・省エネルギー対策の促進

金融秩序混乱への対応
- 市場育成・安定化
- 金融危機への対応

政策手法　ミッション遂行のため、ニーズにマッチした最適な手法を活用。市場を創出･仲介する機能も積極的に発揮。

- 輸出金融：貸付、保証
- 輸入金融：出資
- 投資金融：公社債取得
- 事業開発金融：証券化、調査業務

3 中期経営計画（2018～2020年度）

重点取組課題（業務分野）

1 成長分野・新領域
- ① イノベーション促進に向けた戦略的取組の推進
- ② 経済フロンティア（アフリカ等）における我が国企業のビジネス展開支援
- ③ 新たな市場環境に対応する資源プロジェクトの推進

2 インフラ海外展開
3 環境保全
4 M&A
5 政策金融の着実な遂行と業務の見直し

中期経営計画の重点取組課題にて、アフリカは経済フロンティアとして、JBICが我が国企業のビジネス展開を優先的に支援する位置づけ。

案件発掘・形成の促進を通じた我が国企業のビジネス機会創出

我が国との更なる関係強化が期待されるアフリカ・メコン・南アジア地域において、積極的なリスクテイク、国際機関等や各国政府系金融機関との連携等を通じて、我が国企業の事業戦略に即したビジネス活動を支援

TICAD7プログラムを見据えたアフリカ向け取り組みの強化

我が国企業のアフリカにおけるビジネス開拓に貢献するべく、アフリカ向け取組方針を策定し、案件形成を主体的に推進

TICADにおけるJBICの役割

TICAD VIにおける日本政府の貢献策

- 経済多角化・産業化を通じた経済構造改革の促進、質の高い生活のための強靭な保健システム促進、繁栄の共有のための社会安定化促進。
- 官民合同で300億米ドル規模の支援。

TICAD VIにおけるJBICの貢献策

JBICは、TICAD VIにおいて、アフリカ地域の民間セクター主導の成長促進やインフラ整備の促進のため、Facility for African Investment and Trade Enhancement 2（通称「FAITH 2」）を創設し、JBIC分として、70億米ドル（期間：2013年～2018年）の支援を表明。

日本とアフリカの未来を支える

JBICは、日本企業によるアフリカでの事業やアフリカの経済発展を支援しています。最近の支援事例をご紹介します。

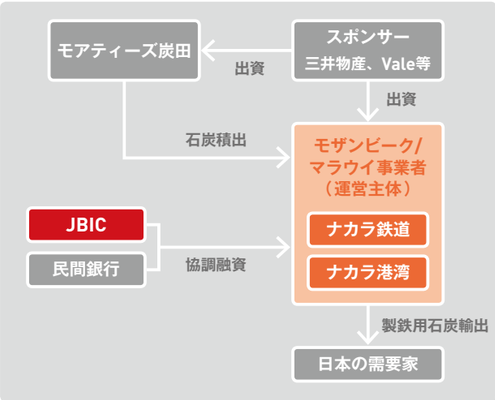
投資金融（資源）　モザンビーク/マラウイ
ナカラ鉄道・港湾プロジェクト（2017年11月）

1.プロジェクト概要

- 融資対象：産炭地テテとナカラ港を結ぶナカラ鉄道（912km）及びナカラ港湾の石炭ターミナルを建設運営する民活（PPP）事業
- スポンサー：三井物産及びVale社（ブラジル資源メジャー）等の共同事業
- 融資契約調印時期：2017年11月27日
- 協調融資総額：2,730百万米ドル
- JBIC融資額：1,030百万米ドル

2.本融資の意義

- JBICとして過去最大額のアフリカ向け融資。
- 原料炭供給源の多様化・資源安定確保に貢献。
- 質の高いインフラ・システム輸出。
- アフリカ広域開発に貢献。



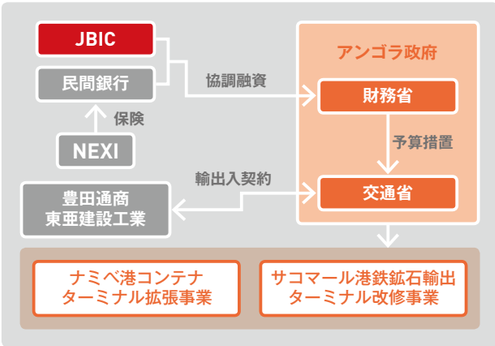
輸出金融　アンゴラ
ナミベ湾包括開発プロジェクト（2019年1月）

1.プロジェクト概要

- 融資対象：ナミベ湾における、①ナミベ港輸入コンテナターミナル拡張及び②サコマール港鉄鉱石輸出ターミナル改修事業に対する日本企業からの機器・役務の輸出
- 輸出者：豊田通商、東亜建設工業
- 融資契約調印時期：
  2019年1月11日General Agreement
  2019年3月28日各案件に係るContract Loan Agreement
- 協調融資総額
  CLA①-約241億円及び約211百万米ドル
  CLA②-約39億円及び約51百万米ドル
- JBIC融資額
  CLA①-約144億円及び約126百万米ドル
  CLA②-約23億円及び約30百万米ドル

2.本融資の意義

- アンゴラ政府が対中国債務を低減する方針を掲げる中での日本の金融機関による大型融資。
- 豊田通商とともに、JBICがナミベ港輸入コンテナターミナル拡張に加え、アンゴラの外貨獲得に資するサコマール港鉄鉱石輸出ターミナル改修をパッケージとしてファイナンス面から検討可能であることをアンゴラ政府に提案し、輸出入契約の締結に至ったもの。
- ナミベ港コンテナターミナル拡張により、隣国ナミビアの港への依存軽減及びアンゴラ南部の経済活性化が見込まれる。またサコマール港鉄鉱石輸出ターミナル改修はより多くの鉄鉱石輸出を可能とし、ひいてはアンゴラの外貨獲得、経済多角化に寄与するもの。



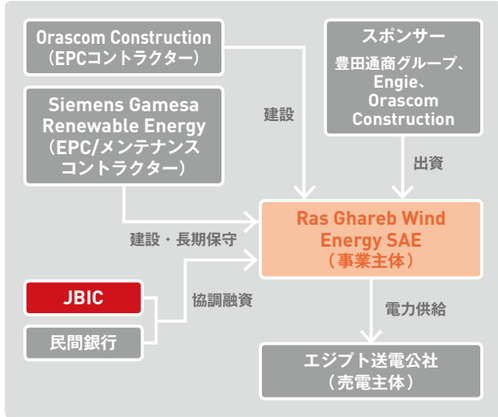
投資金融　エジプト
スエズ湾陸上風力発電プロジェクト（2017年12月）

1.プロジェクト概要

- 融資対象：カイロの南東260km、スエズ湾沿いに風力発電所を建設・所有・運営し、完工後20年間に亘りエジプト送電公社向けに売電する事業
- スポンサー：豊田通商グループ（40%）、仏・Engie（40%）、エジプト・Orascom Construction（20%）
- 融資契約調印時期：2017年12月1日
- 協調融資総額：320百万米ドル
- JBIC融資額：192百万米ドル

2.本融資の意義

- JBICにおいて、アラブの春以降初のエジプト向けプロジェクトファイナンス案件であるとともに、アフリカにおける初の風力発電向けプロジェクトファイナンス案件。
- 電力需要旺盛なエジプトにおける電源の多様化に貢献。



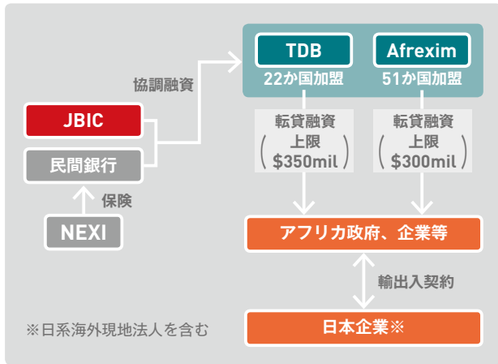
輸出金融クレジットライン型　東部・南部アフリカ貿易開発銀行（TDB）およびアフリカ輸出入銀行（Afrexim）向け輸出クレジットラインの設定（2019年5月）

1.プロジェクト概要

- TDB及びAfreximの業務対象国の事業者に対して、日本企業及び日系海外法人から機械・設備等を輸出するための資金をTDB及びAfreximを通じて融資するもの。
- 融資契約調印時期
  T D B　：2019年5月24日General Agreement
  （輸出入契約承認期限2022年3月25日）
  Afrexim：2019年5月31日General Agreement
  （輸出入契約承認期限2021年3月25日）
- 協調融資総額
  T D B　：350百万米ドル（米ドル建）
  Afrexim：300百万米ドル（米ドル/ユーロ建）
- JBIC融資額
  T D B　：210百万米ドル
  Afrexim：180百万米ドル

2.本融資の意義

- アフリカ事業拡大を狙う日本企業から、TICAD7官民円卓会議の提言（2019年4月2日に安倍総理へ提出）を通じ、「アフリカに知見を有する国や国際機関と日本の民間企業が、必要な情報、知見、ネットワーク、リソース等を共有・連携し、案件形成までできるよう、各省・機関のネットワークで支援」を期待される中での対応。
- 資源に偏重するアフリカの産業の多角化に寄与。 両地域開発金融機関のアフリカ地域におけるリスクテイク・資金回収能力を活用し、アフリカ諸国での日本企業によるビジネス受注を広範囲かつ積極的に支援。
- 日本で製造された機器の輸出支援に加え、日本企業の海外現地法人が製造した機器のアフリカ向け輸出も支援対象（ローカル・バイヤーズ・クレジット）とし、広範囲な支援が可能。
- プロジェクトのホスト国が、両機関の業務対象国である場合、競争原理により競争力の高いファイナンス条件が期待。



広がるファイナンス実績

JBICは、アフリカにおける取組を年々拡大しています。今後も日本の政府系金融機関として、日本企業によるアフリカでのビジネス推進やアフリカの経済発展に対し、長期安定的なファイナンス支援を実施していきます。

■ TICAD IV以降のアフリカ向け主要出融資実績

調印日	国名	プロジェクト名		承諾金額（JBIC分）
2008.7.9	7 南アフリカ	電力公社（Eskom）向け融資及び保証（送配電設備敷設プロジェクト）	インフラ　事業開発等金融　保証	融資・保証 75億円
2008.8.15	6 マダガスカル	アンバトビィ・ニッケル・プロジェクト向け融資	資源　投資金融	400百万米ドル
2008.9.25	1 エジプト	ガス公社（EODC）向け融資（天然ガス開発関連プロジェクト）	航空機・船舶　投資金融	270百万米ドル
2009.3.26	7 南アフリカ	運輸公社（Transnet）向け融資及び保証（港湾拡張プロジェクト）	インフラ　一般製造業・サービス業　事業開発等金融　保証	融資・保証 350億円
2009.10.5		スタンダードバンク向け融資（貿易金融支援）	一般製造業・サービス業　事業開発等金融	150百万米ドル
2010.2.25	ー	The Currency Exchange Fund N.V.向け出資	その他　出資	50百万米ドル
2010.8.9	1 エジプト	ERC製油所プロジェクト向け融資	一般機械・設備　輸出金融　プロジェクト・ファイナンス	540百万米ドル
2010.9.2		国有トンネル公社向け融資（地下鉄車輌輸出プロジェクト）	インフラ　環境　輸出金融	79億円
2010.11.24	8 アンゴラ	政府向け融資（国営紡織工場再建プロジェクト）	一般機械・設備　輸出金融	116億円
2011.6.30	5 モザンビーク	木材チップ製造・販売プロジェクト向け融資	資源　投資金融	4.8百万米ドル
2012.3.30	Ⓐ ー	アフリカ輸出入銀行向け輸出クレジットライン	一般機械・設備　輸出金融	60百万米ドル
2012.6.20	10 モロッコ	ジョルフラスファール発電プロジェクト向け融資	インフラ　輸出金融　プロジェクト・ファイナンス	216百万米ドル
2012.8.24	8 アンゴラ	政府向け融資（2件）（国営紡織工場再建プロジェクト）	一般機械・設備　輸出金融	185億円相当 181億円相当
2013.3.27	Ⓒ ー	南部アフリカ開発銀行向け輸出クレジットライン	一般機械・設備　輸出金融	60百万米ドル
2013.6.2		南部アフリカ開発銀行向け融資及び保証（再生可能エネルギープロジェクト）	環境　事業開発等金融　保証	融資・保証 49百万米ドル
2013.9.27	9 ガーナ	T.E.N.油田向け大水深対応FPSO傭船プロジェクト向け融資	資源　航空機・船舶　投資金融　プロジェクト・ファイナンス	508.2百万米ドル
2013.10.8	10 モロッコ	BMCE Bank向け輸出クレジットライン	一般機械・設備　輸出金融	60百万米ドル
2014.9.18		サフィ発電プロジェクト向け融資	インフラ　投資金融　プロジェクト・ファイナンス	719百万米ドル 147百万ユーロ
2015.3.26		海水淡水化プラント向け機器輸出向け融資	インフラ　投資金融　プロジェクト・ファイナンス	11.5百万ユーロ
2015.3.27	7 南アフリカ	スタンダードバンク向け融資及び保障（再生可能エネルギープロジェクト）	環境　事業開発等金融	融資・保証 237.5百万米ドル
2015.3.27	3 タンザニア	政府向け融資（発電所建設プロジェクト）	インフラ　輸出金融	175百万米ドル
2015.9.11	2 ウガンダ	政府向け融資（道路建設・整備用建設機械等輸出プロジェクト）	一般機械・設備　輸出金融	75億円
2016.3.30	8 アンゴラ	アンゴラ開発銀行向け融資（South Atlantic Cable System光海底ケーブル敷設プロジェクト）	インフラ　輸出金融	65百万米ドル
2016.8.27	Ⓑ ー	東部・南部アフリカ貿易開発銀行向け輸出クレジットライン	一般機械・設備　輸出金融	40百万米ドル
2017.11.27	4 5 モザンビーク/マラウィ	ナカラ鉄道・港湾プロジェクト向け融資	資源　インフラ　投資金融　プロジェクト・ファイナンス	1,030百米万ドル
2017.12.1	1 エジプト	スエズ湾風力発電プロジェクト向け融資	インフラ　環境　投資金融　プロジェクト・ファイナンス	191百万米ドル
2019.1.11	8 アンゴラ	政府向け輸出クレジットライン（ナミベ湾包括開発プロジェクト）	一般機械・設備　輸出金融	346億円
2019.5.24	Ⓑ ー	東部・南部アフリカ貿易開発銀行向け輸出クレジットライン	一般機械・設備　輸出金融	210百万米ドル
2019.5.31	Ⓐ ー	アフリカ輸出入銀行向け輸出クレジットライン	一般機械・設備　輸出金融	180百万米ドル

Ⓐ

2012年3月	アフリカ輸出入銀行向け輸出クレジットライン	60百万米ドル
2019年5月		180百万米ドル

Ⓑ

2016年8月	東部・南部アフリカ貿易開発銀行向け輸出クレジットライン	40百万米ドル
2019年5月		210百万米ドル

Ⓒ

2013年3月	南部アフリカ開発銀行向け輸出クレジットライン	60百万米ドル
2013年6月	南部アフリカ開発銀行向け融資及び保証（再生可能エネルギープロジェクト）	49百万米ドル

■ JBICのアフリカ向け出融資残高（2019年3月末時点）

	国名	出融資残高（億円）	出融資件数（件）
1	モロッコ	1,079	3
2	マダガスカル	858	2
3	エジプト	794	3
4	モザンビーク	739	2
5	アンゴラ	621	6
6	ガーナ	476	1
7	マラウイ	355	2
8	タンザニア	186	1
9	南アフリカ	99	5
10	アルジェリア	79	4
	アフリカ合計	5,379億円	34件
	JBIC総計	14兆173億円	1,475件

■ 覚書締結実績

2009年5月14日	アフリカ開発銀行との協力関係強化のための覚書
2010年5月28日	アフリカ輸出入銀行との業務協力関係の構築を目的とする覚書
2010年5月30日	エジプト政府との包括戦略パートナーシップに係る覚書
2011年3月8日	モロッコ政府との包括戦略パートナーシップに係る覚書
2014年9月30日	モザンビーク共和国政府との覚書
2016年8年26日	モロッコ商業銀行Attijariwafa Bankとの覚書
2016年8年27日	イスラム開発銀行グループとの覚書